

感染症対策チェック表（部活動宿泊編）

部活動において、県内外での宿泊を伴う活動を実施する場合は、顧問等が次の点に気をつけて計画・実施してください。

1	出発前の留意点	校長が計画等を確認した上で適切に判断すること。	
2		宿泊先の感染状況等や、休日当番医等の医療機関について、確認しておくこと。	
3		出発1週間前程度から「健康観察の記録表」等を活用した健康観察を行うこと。	
4	移動の際の留意点	バスで移動の際は、できるだけ間隔を空けて乗車するとともに、適宜換気を行うこと。	
5		バスの中ではマスクを着用し、大きな声での会話は控えること。また、バスの座席等は、できるだけ固定しておくこと。	
6		バスの手すりや、取っ手など、不特定多数が接触する部分は使用の前後で、適宜消毒を行うこと。	
7	宿泊の際の留意点	手洗い・消毒等の基本的感染症対策を徹底するとともに、手を拭くタオルやハンカチ等は個人持ちとして、共用はしないようにすること。	
8		宿泊する際は、1部屋にできるだけ少ない人数で宿泊（シングル奨励）するようにし、複数名で宿泊する際には、宿泊するメンバーを固定しておくこと。	
9		入浴もできるだけ少人数で行い、タオルやブラシ等の貸し借りは禁止すること。	
10		食事をとる際は、座席の間隔をできるだけ取り、一方向を向いて食事をとるようにすること。また、飛沫を飛ばさないよう、会話は控えること。	
11		宿泊期間中は、健康観察及び検温を定期的実施し、記録として残しておくこと。	
12		体調不良者が発生した場合は、他の生徒と別行動をとるなどの対応を検討しておくこと。	
13	帰宅後の留意点	帰宅後は速やかに、手洗い、うがい等の基本的な対応を行うこと。	
14		帰宅後も数日間は「健康観察の記録表」等を活用した健康観察を行うこと。	

※各校の実態に応じた感染症対策を検討し、チェック表に加えて対策を講じるようにしてください。